

平成 27 年度

事 業 計 画 書



## 平成27年度事業計画書

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日

### 1 研究事業

事業名	事業の内容
1. 船積有害貨物の安全対策に関する調査研究	船積危険品の性状、積付方法、応急処置等の安全対策に関する調査研究を行い、資料を作成とともに、既存資料の改訂を行う。研究成果は、ホームページに掲載し、海事関係者等広く一般に提供する。
2. 大阪湾における南海トラフ巨大地震津波の最大波が錨泊船舶に及ぼす影響の調査研究	南海トラフを震源とする巨大地震に伴う津波が大阪湾に錨泊している船舶に及ぼす影響について把駐力等の計算を実施し、津波規模に対する錨泊の限界を把握するとともに、錨泊方法に対する留意事項等を取りまとめ、津波来襲時における船舶の減災対策に寄与する。
3. 海難防止対策検討における操船シミュレータ手法の活用に関する調査研究	港湾計画や大型船入港等にかかる航行安全対策の検討において活用が進む操船シミュレータ実験について、既往の実施状況を整理・分析するとともに、求められる機能についてニーズを把握し、安全対策検討項目の定量性及び定性性に応じた最適なシミュレーション手法及び評価手法を検討して、操船影響把握手法の確立を図り、円滑・迅速な航行安全対策の検討に寄与する。
4. 大阪湾における台風・大型低気圧避泊に関する調査研究	大阪湾における台風・大型低気圧来襲時のAIS搭載船の避泊船舶の実態調査を行うとともに、AISデータの収集・解析、台風避泊実態の把握のうえ、大阪湾における台風・大型低気圧の避泊に対する運用参考資料をとりまとめ、海事関係者に広く周知し安全対策に寄与する。

### 2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾工事に伴う船舶航行安全対策調査研究（仮称）	港湾工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 巨大地震等の津波による船舶等に対する海難防止対策の調査研究（仮称）	巨大地震等に伴い大阪湾に来襲する津波による在港船舶等の海難防止対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究（仮称）	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

### 3 情報開示

事業名	事業の内容
1. 神戸港航行安全情報管理業務	<p>① 神戸中央航路等整備に伴う第六南防波堤撤去及び附帯工事等に関する情報を収集・整理、その周辺海域の監視を行い関係者に情報提供するとともに、一般航行船舶の動静情報を収集・整理し、工事請負者に情報提供する。</p> <p>② 神戸沖埋立処分場へ出入港する廃棄物輸送船及び工事作業船情報並びに一般船舶の情報を収集・整理、その周辺海域の監視を行い、関係者に情報提供する。</p> <p>③ 上記の情報収集・提供を行うと共に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等の航行安全情報管理業務を実施する。</p>
2. 海難防止強調運動の実施	「全国海難防止強調運動」及び特定の海難にかかる「地方海難防止強調運動」等の展開、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 講習会	<p>次の講習会を実施して、海難防止に寄与する。</p> <p>① 「月例会」 毎月1回（5月、8月、12月を除く）「月例会」を開催し、当会の事業にかかる業務報告、調査研究事項の報告のほか、海事関係機関の海難防止に関する講演を実施する。</p> <p>② 「地域部会」 年1回主要港（大阪港、神戸港を除く。）の海事関係者を対象とする「地域部会」を開催し、地域における海難防止に関する講演等を実施する。</p> <p>③ 「船長講習会」 海上交通安全法に基づく進路警戒船等の船長に対し、進路警戒船業務についての講習会を実施する。</p>
4. 広報活動	<p>次の広報活動を実施して、海難防止に寄与する。</p> <p>① 「会報」の刊行 年4回、調査研究の成果等をとりまとめ「公益社団法人神戸海難防止研究会会報」として会員及び関係者に配布する。</p> <p>② ホームページ等の充実 ホームページ及び調査研究のデータベースのコンテンツを充実、強化し、海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発する。</p>